

三菱自動車、『アウトランダーPHEV』が2024年度のPHEVカテゴリ 国内販売台数 No.1 を獲得、累計販売台数は10万台を突破

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、プラグインハイブリッドEV（以下PHEV）の『アウトランダーPHEV』が2024年度の国内販売台数で8,885台となり、国内のPHEVカテゴリで第1位^{*1}を獲得したことに加え、2013年の発売開始以来、累計販売で10万台を達成^{*2}したと発表しました。

*1…自販連調べ

*2…自社調べ



アウトランダーPHEV

三菱自動車は1964年から電動車の研究開発を開始し、2009年に世界初の量産電気自動車『アイ・ミーブ』を世に送り出し、2013年には世界初のSUVタイプのPHEVとして『アウトランダーPHEV』を発売。2020年には『エクリプス クロス PHEV』を発売しました。『アウトランダーPHEV』は世界60カ国以上で累計40万台以上を販売し、PHEVカテゴリをリードしてきました。行動範囲が比較的限定される軽自動車からコンパクトカーにはBEVを推奨し、SUVやミドルクラス以上には行動範囲を制限しないPHEVが最適といった考え方のもと、電動車を展開してきました。今後も電動化技術の活用を通じ、気候変動・エネルギー問題の解決や、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

『アウトランダーPHEV』概要

世界初のSUVタイプで4WDのPHEVとして2013年より販売し、PHEVカテゴリをリードしてきた当社のフラッグシップモデルです。「日常ではEV、遠出はハイブリッド」というコンセプトのもと、電動車ならではの力強く滑らかで静かな走り、様々な天候や路面でのドライブを安全・安心かつ快適に楽しめる電動SUVです。

また、三菱自動車の電動化技術と四輪制御技術の粋を集め、「威風堂堂」をコンセプトに2021年にフルモデルチェンジし2代目となりました。2024年10月の大幅改良では駆動用バッテリーの刷新によるEV航続距離伸長や加速性能の向上に加え、内外装デザインの変更により質感を向上させました。また12.3インチのナビゲーション、シートベンチレーションの採用や、ヤマハ株式会社と共同開発したオーディオシステムを全車標準装備とするなど、さらなる進化を遂げました。

＜『アウトランダーPHEV』の車種サイトはこちら＞

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/outlander_phev/index.html

以上